

設 計 書

工事名称 松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

工事場所 松戸市紙敷二丁目7番地の5

工 期 自 令和 年 月 日
至 令和 8年 2月 27日

設計年月日 令和 7年 5月 日

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

建築工事 1 . 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢1200×1700 布桢500×2枚 22m未満 3ヶ月程度 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0001
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢1200×1700 布桢500×2枚 基本料 修理費含む 22m未満 - -	765	m ²			
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢1200×1700 布桢500×2枚 供用1日賃料 修理費含む 22m未満 - -	765	m ²			
桢組本足場 (手すり先行方式)	建桢1200×1700 布桢500×2枚 掛払い手間 22m未満 - -	765	m ²			
計						
内部仕上足場 (手すり先行方式)	桢組棚足場 階高10.8m以上12.5m未満 -	1	式			別紙 00-0002
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 桢組棚足場 階高10.8m以上12.5m未満 -	330	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用1日賃料 修理費含む 桢組棚足場 階高10.8m以上12.5m未満 -	330	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 桢組棚足場 階高10.8m以上12.5m未満 平家用	330	m ²			
計						
内部仕上足場 (手すり先行方式)	桢組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 -	1	式			別紙 00-0003
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 桢組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 -	456	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用1日賃料 修理費含む 桢組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 -	456	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 桢組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 平家用	456	m ²			
計						

建築工事 1. 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部仕上足場 (手すり先行方式)	桙組棚足場 階高7.4m以上9.1m未満 -	1	式			別紙 00-0004
内部仕上足場 (手すり先行方式)	掛払い手間 桙組棚足場 階高7.4m以上9.1m未満 -	462	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	供用1日賃料 修理費含む 桙組棚足場 階高7.4m以上9.1m未満 -	462	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	基本料 修理費含む 桙組棚足場 階高7.4m以上9.1m未満 平家用	462	m ²			
計						
安全手すり (手すり先行方式)	桙組本足場用 3ヶ月程度 仮設材運搬共	1	式			別紙 00-0005
安全手すり (手すり先行方式)	桙組本足場用 基本料 修理費含む -	525	m			
安全手すり (手すり先行方式)	桙組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	525	m			
安全手すり (手すり先行方式)	桙組本足場用 掛払い手間 -	525	m			
計						
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災® リステル	1	式			別紙 00-0006
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災® リステル 掛払い手間 -	132	m			
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災® リステル 供用1日賃料 修理費含む -	132	m			
小幡ネット張り (層間塞ぎ)	防災® リステル 基本料 修理費含む -	132	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

現場説明書

1. 工事名称 松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市紙敷二丁目7番地の5

3. 説明事項

<一般事項>

- ・ 工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・ 契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
- ・ 騒音、振動発生する作業を行う場合は、事前に施設関係者と十分協議し作業を行うこと。
- ・ 関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
- ・ 同時期に電気設備工事・機械設備工事の体育館空調設備設置工事も行われるため、工程及び資材置き場等、工事間の調整を密に行うこと。

<工程について>

- ・ 工事の日程等は、施設管理者および関係者に事前に周知を図ること。
- ・ 大体育室は令和7年9月9日以降に着手し、令和7年12月26日までに工事を終え、使用開始できるよう工程を組むこと。

<共通仮設について>

- ・ 材料搬出入時等は交通誘導員を適宜配置し、安全確保に努めること。
- ・ 生徒及び職員の安全、動線の確保に留意した仮設計画とし、安全管理を十分に行うこと。

<週休2日制適用工事について>

- ・ 本工事は、週休2日工事（発注者指定方式）である。
- ・ 受注者は、現場閉所（休息）による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格については4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・ 週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

- ・ 提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・ 検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・ 落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

[illegible]

工事名	松戸市立松戸高等中学校体育館空間設備設置建築工事		
図面名	図面リスト		
作成年月日	令和7年2月21日	変更年月日	
縮尺	N : S	図面番号	A-00
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一般建築士 大臣登録 第152135号 松戸市 若くくり部 建築保全国		

松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

令和7年2月10日

仕様書

1 工事概要

1. 工事場所

松戸市紙敷二丁目7番地の5

2. 敷地面積

58.300㎡

3. 改修建物概要

用途・運動施設

構造：RC造

階数：地上3階

延べ面積：16,463.60㎡

4. 工事内容

工事種目	工事範囲
2 仮設工事	仮囲い・資材置場・足場設置
3 防水改修工事	-
4 外壁改修工事	-
5 建具改修工事	フィルム貼・ガラス交換
6 内装改修工事	-
7 塗装改修工事	-
8 耐震改修工事	-
9 環境配慮改修工事	-
10 その他	-

Ⅱ建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕」という。）及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕」という。）による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。

◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

◎印と◎印の付いた場合は共に適用する。

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

松戸市建築工事現場表示板仕様

工事名称

発注者

設計

監理

施工建築

電気機械

緊急連絡先

文字(白)

下地(青)

1800

900

(1) 材料

1) 耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上り)

2) 枠及び桱木については、部材寸法45×45mm以上とし、間隔は縦、横とも450mm以内とすること。

(2) 注意事項

1) 表示板の固定方法は、堅固な支柱又は仮囲い等に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し、公衆の生命及び財産に危害のないようにすること。

1 ①運用基準等

②工事実績情報サービス(GORINS)への登録

③施工計画書

4 電気保安技術者

⑤施工条件

⑥発生材の処理等

⑦材料の品質等

⑧化学物質を放散する建築材料等

⑨特別な材料の工法

10 技能士

11 化学物質の濃度測定

⑫完成図等

○松戸市建築工事に関する提出書類

○工事写真の撮り方 建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

○松戸市建築工事現場表示板仕様

※適用する

○工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。

○施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。

○施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。

○施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。

・工事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、〔1.3.3〕電気工作物の保安の業務を行うものとする。

※現場説明書による

※現場説明書による・場外搬出適正処理

〔1.4.2〕

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。

(3) 安定的な供給が可能であること。

(4) 法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの発散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

③下記表示のあるJAS規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用

第三種

①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品

②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

③旧JISのEo規格品

④旧JASのF☆☆☆☆規格品

標準仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造者の指定する工法とする。

〔1.6.2〕

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工・コンクリート圧送
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築・ALCパネル施工
防水工事	・75㎡防水工事作業・合成ゴム系シート防水工事作業
	・ウレタン系塗装防水工事作業・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工・ガラス施工・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工・サッシ施工・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	・ボード仕上げ工事作業・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

〔1.6.9〕

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。

測定はバッシュ型採取機器により行う。

着工前の測定・行う

測定対象室・

測定箇所数

着工後の測定・行う

測定対象室・

測定箇所数

※作成する・作成しない

〔1.8.1～3〕〔表1.8.1〕

※完成図 提出部数 ※現場製本図 1部(電子媒体(CD-R))

・黒 金文字製本図 1部

・施工図 提出部数 ※

13 完成写真

⑭設備工事との取合い

⑮設計GL

⑯工事写真

⑰ワンダーレスポンスの実施

⑱火災保険等

2 仮設工事

②養生

3 仮設間仕切り

4 監督職員事務所

⑤工事用水

⑥工事電力

7 防音パネル

8 仮門

⑨仮囲い

10 仮設道路

3 防水改修工事

2 改質アスファルトシート防水

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	撮影部数	原版の大きさ(mm)
・カラー	外部() 内部()	※1・6	※100×125以上
※キャビネ版			
・べた焼き			
・(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)			
※カラー半切木製パネル	外部() 内部()	※2	※200万画素以上
324×400(mm)			※300dpi以上
・電子データ	外部() 内部()	※2	※200万画素以上

100×125以上の原版を使う場合は、監督職員にあらかじめ焼を提出し確認を受ける。

電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※図示・設計GL＝現状GL

※着工前、完成及び立会写真2部 工事工程写真1部

ワンダーレスポンスの取り組みについて

1. この工事はワンダーレスポンス実施対象工事である。

「ワンダーレスポンス」とは

受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。

ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行う。

3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。

4. 効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

※火災保険等の証券等の写しを提出すること。

〔2.2.1〕

内部足場 種別 ※脚立、足場板・棚足場

〔2.2.1〕〔表2.2.1〕

外部足場 手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。

〔2.2.1〕〔表2.2.1〕

屋根工事及び小屋根組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。

〔2.2.1〕〔表2.2.1〕

材料、撤去材等の運搬方法

・A種 ※B種・C種 ○D種・E種

・定置する足場、作業橋台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。

〔2.3.1〕

既存部分の養生 ※ビニールシート

・合板 厚12

既存家具等の養生 ※ビニールシート

固定家具等の養生 ※行う・行わない

〔2.3.2〕〔表2.3.1〕

種別	下地	仕上材(厚さ mm)	充てん材	塗装
・A種	※軽重鉄骨	・合板(※9.0・ラワン)		※無し
・B種	・木下地	※せつこうボード(※12.5)	厚さ mm	・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	※鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り

〔2.4.1〕

規模及び仕上げる程度は現場説明書による。

〔2.4.1〕

構内既存の施設・利用できない

◎利用できる◎有償・無償

◎予メータを設置する。

〔2.4.1〕

構内既存の施設 ※利用できない

○利用できる◎有償・無償

〔2.4.1〕

※アルミ製(解体作業期間)

・キャスターゲート W= 3.60 m、H= 1.8 m、1箇所

・キャスターゲート W= 6.0 m、H= 1.8 m、箇所

○ガードフェンス H= 1.8 m 箇所 図示

※成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、箇所

・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m

(砕石は、再生クラッシャーランを使用)

・鋼板敷(厚さ mm 幅 mm L= m) 枚

〔3.3.2〕〔表3.1.1〕〔表3.3.3～10〕

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
保 ※PIB		・B-1 ※B-2
護 ・PIB1・TIB1		・BI-1 ※BI-2
防 ・P2A1		・AI-1 ※AI-2
水 ※P2A		・A-1 ※A-2
露出 ・M4C		・C-1 ※C-2
防水 ・M3D・POD		・D-1 ※D-2
屋内防水 ・PIE・P2E		・E-1 ※E-2

(保護層は図示による)

〔3.2.2〕〔3.3.2〕

アスファルトの種類 ※3種・4種

〔3.3.2〕〔表3.1.1〕〔表3.3.4.1～3〕

保護コンクリートのコンクリート種類・普通コンクリート(18N/? S=18mm)

〔3.3.2〕〔表3.1.1〕

(溶接金網 径6mm 100mm×100mm敷設)

〔3.2.5〕

POD工法の二重ドレン ※設けない・設ける

〔3.3.3〕

M3D、POD工法の脱気装置 ※設けない・設ける

〔3.2.6〕

既存露出防水層表面の仕上り塗装(M4C工法の場合)・除去する

〔3.3.2〕

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25

ただし、特定フロンを含まないもの。

〔3.3.2〕

立上り部の保護

・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形コンクリートブロックとする。

〔3.3.2〕

・乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm

〔3.4.2〕〔表3.1.1〕〔表3.4.1～3〕

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)
・M4AS工法		・AS-1・AS-2・AS-3	
・M3AS工法		・AS-4・AS-5・AS-6	
・POAS工法			
・M3ASI工法		・ASI-1・ASI-2	
・M4ASI工法			
・POASI工法			

脱気装置 ※設けない・設ける

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

4 塗膜防水

5 脱気装置

6 シーリング

7 とい

8 アルミニウム製空木

9 折板葺

4 外壁改修工事

共通事項

〔3.5.2〕〔表3.1.1〕〔表3.5.1～3〕

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上り塗料等	使用分類
・POS工法		・S-F1・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・SSS工法				
・M4S工法		・S-M1・S-M2		
・POSI工法		・SI-F1・SI-M1		
・SSSI工法		・SI-F2・SI-M2		
・S4SI工法		・SI-M3		
・MASI工法				

脱気装置 ※設けない・設ける

〔3.5.3〕

目地処理 PCコンクリート

〔3.5.4〕

〔3.6.2～4〕〔表3.1.1〕〔表3.6.1〕

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
・POX工法		・X-1(絶縁工法)
・L4X工法		・X-2(密着工法)

〔3.2.6〕

既存塗膜防水層表面の仕上り塗装(L4X工法の場合)・活膜を残す

〔3.6.3〕

脱気装置 ※設けない・設ける

〔3.3.2〕〔3.4.2〕〔3.5.2〕〔3.6.2〕〔表3.1.1〕

種類	材質	設置数量
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂・ABS樹脂	・約50㎡当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム・塩化ビニル樹脂・ステンレス・銅	・()㎡当たり1箇所

〔3.1.4〕〔表3.1.2〕

シーリング改修工法の種類

・シーリング充填

・シーリング再充填工法

・シーリング打替え

・拡張シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

〔3.7.2〕〔表3.7.1〕

シーリング材の種類、施工箇所

※下表以外は改修標準仕3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
・打ち継ぎ目地、伸縮目地	・ポリウレタン系(PU-2)(仕上がりあり)
・建具廻り、金属取合い	・変成シリコーン系(MS-2)(仕上げなし)
・タイル目地	・ポリサルファイド系(PS-2)

〔3.8.2〕〔表3.8.1〕

といの材質

・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管

・排水用サイクル硬質塩化ビニル管(REP-VU) ㊦

鋼管製といの防露

〔3.8.2〕〔表3.8.3〕

・次の箇所は行わない()

防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆

掃除口 ※有り・無し

〔3.8.3〕

たてどい受金物の取付け

〔3.9.2～3〕〔表3.9.1〕

種類	呼称肉厚(mm)	製品幅(mm)	固定間隔	備考
・250形	※1.6以上	・240・250	固定方法及び間隔は	隅角部及び突き当り部等の
・300形	※1.8以上	※300	品質計画で定め	たもの
・350形	※2.0以上	※350		

〔3.9.3〕

板材折曲げ形の取付工法・図示

(13.3.2～3)

形式	※重ね形	・はぜ縋め形	・
形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚・0.6 ※0.8
材料(規格等)	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び銅帯		
	(QGLCCR-20-AZ150)		
軒先面戸板	※有り・無し		
断熱材	・有り(種別: 厚さ: mm)	※無し	
耐火性能	・30分耐火	※無し	

調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上表含む)

・図示の範囲

〔1.5.2〕

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。

塗仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※2部

工事名

松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

図面名

特記仕様書(1)

作成年月日

令和7年2月10日

変更年月日

縮尺

No Scale

図面番号

A-01

設計

有限会社 神谷建築事務所
千葉県知事登録 第1-2307-2710号
神谷 繁樹
一級建築士大臣登録第152135号

松戸市 街づくり部 建築保全課

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 改修材料

・既製適合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg/ l)	接着強度 (N/?)		長さ変化率 (%)	曲げ強度 (N/?)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以上	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強度(標準)	圧縮強度	曲げ強度	硬化収縮率
2.0N/?以上	6.0N/?以上	50.0N/?以上	30.0N/?以上	3.0(%)以上

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常温(温度5℃～35℃、湿度15%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・可とう性エポキシ樹脂

性能	常温特性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強度	1.0N/?以上	1.0N/?以上	1.0N/?以上	最大引張応力 1.0N/?以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び 10.0%以上

比重 表示値±0.10
押出し性 60秒以下
スランプ 3mm以下
加熱減量 5%以下

a.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
c.常温・常温(温度5℃～35℃、湿度45%～85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用材料

接着強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/?)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膜特性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強度(N/?)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8hもありで安定していること。
a.外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b.タイル、石材、下地等侵すものでないこと。
c.「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e.ずり抵抗性があること。
f.混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル

接着強度	圧縮強度	曲げ強度
1.0N/?以上	20.0N/?以上	10.0N/?以上

a.こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上がりが良好であること。
b.均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c.「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。
e.常温・常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル

ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等

曲げ強度 (N/?)	圧縮強度	接着強度 (N/?)		
(N/?)	(N/?)	標準時	造湿時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。
透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強度)
3以上	3.0%以下	0.5N/?	5.0N/?	15%以下	6.0N/?

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00

・吸水調整材

項目	全固形分(%)	吸水性(g)	接着強度(N/?)	界面破壊率(%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

3 浮き部改修工法

4 巾木モルタル塗

4
外壁
改修
工事

共通事項

2 欠損部改修工法(鉄筋腐蝕補修含む)

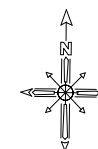
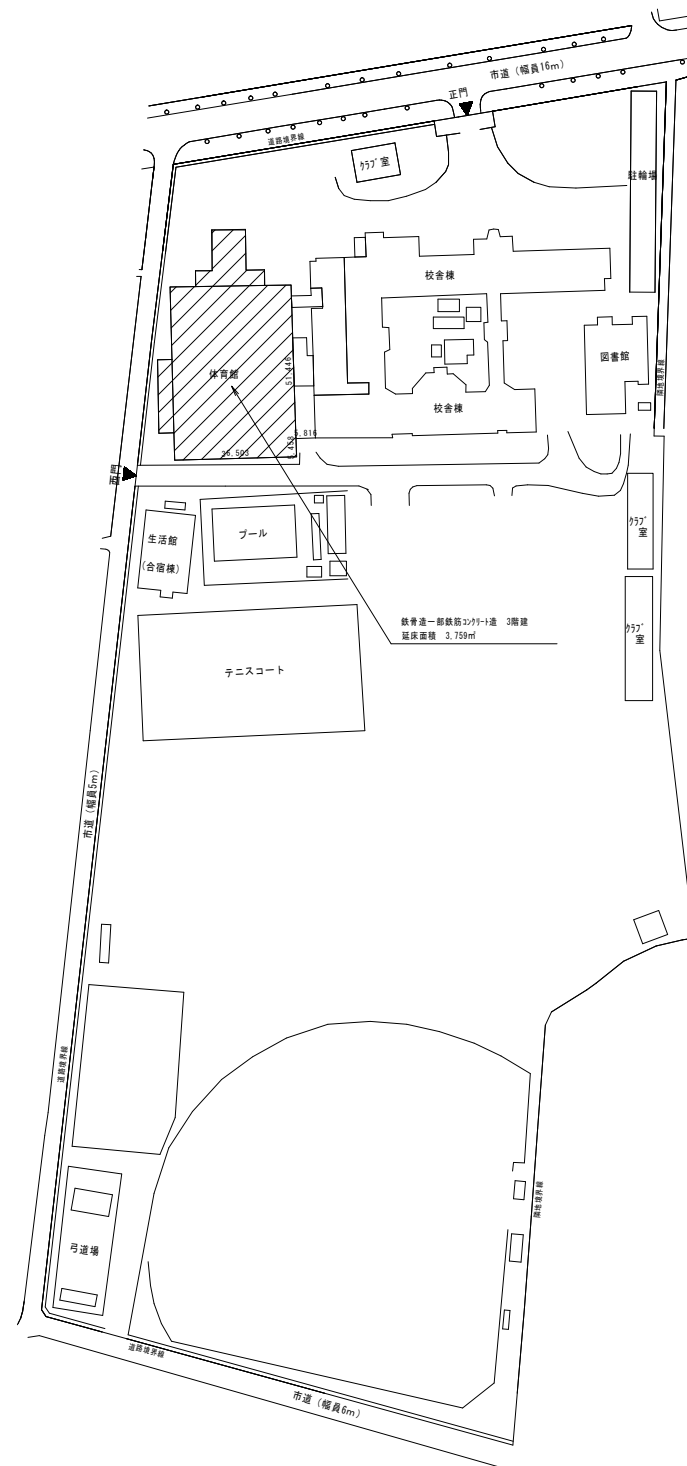
3 浮き部改修工法</

工事名	松戸市立松戸高等学校校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	特記仕様書（４）		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	No Scale	図面番号	A-04
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号 松戸市 街づくり部 建築保全課		



松戸市紙敷二丁目7番地の5
松戸市立松戸高等学校
〈凡例〉 : 工事箇所を示す。

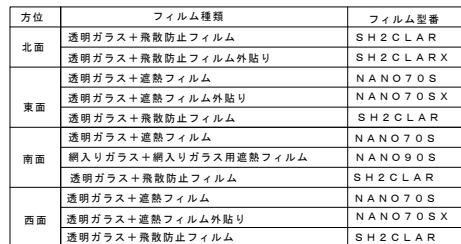
案内図 S=1/2,500

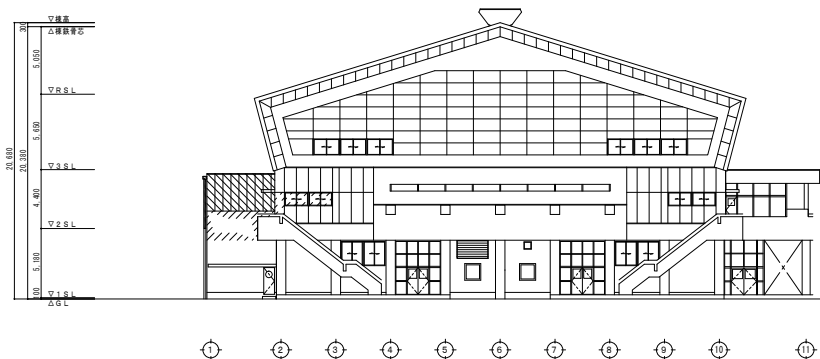


〈凡例〉 : 工事箇所を示す。

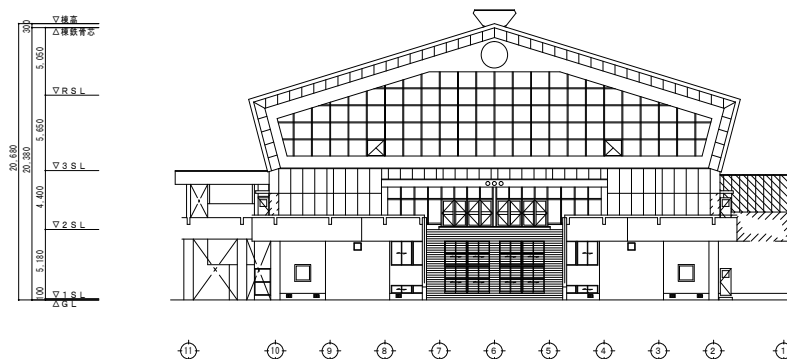
配置図 S=1/800

工事名	松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A-1 1/2500.800 A-3 1/5000.1600	図面番号	A-05
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

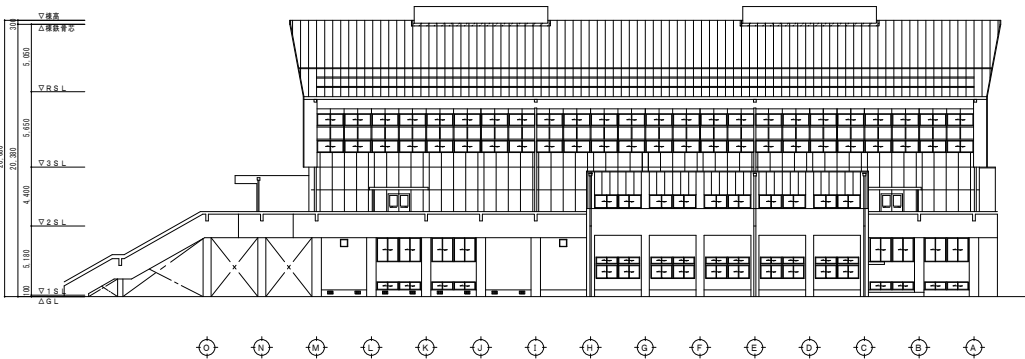
[illegible]



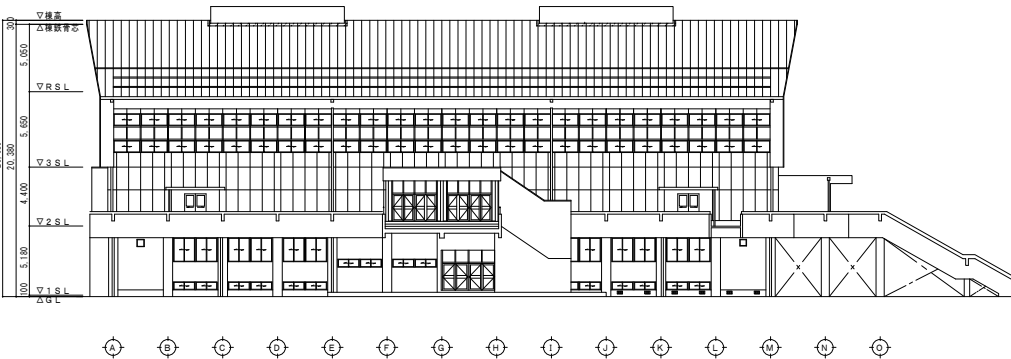
南側立面図 S=1/200



北側立面図 S=1/200



西側立面図 S=1/200



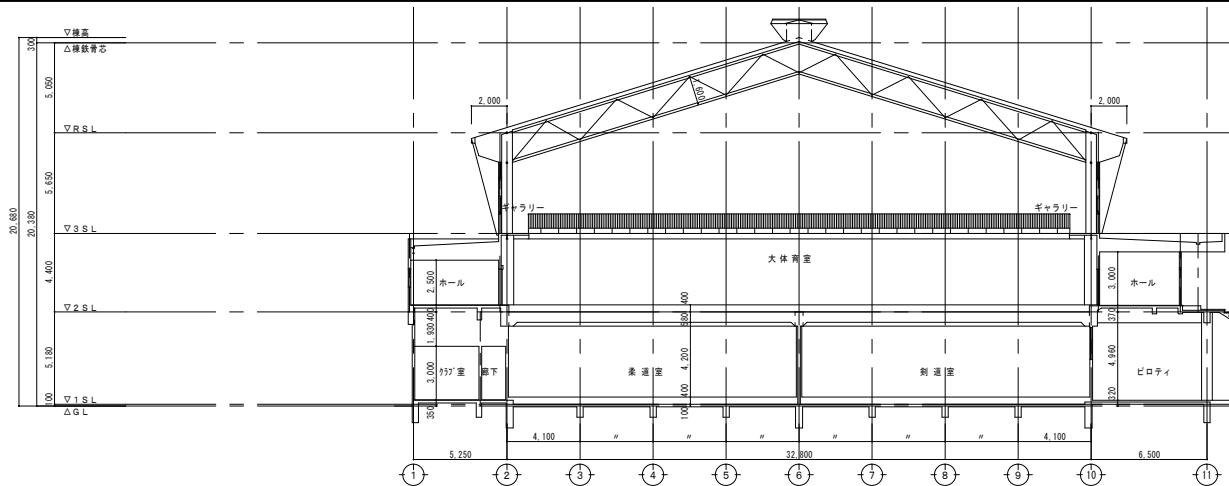
東側立面図 S=1/200

方位	フィルム種類	フィルム型番
北面	飛散防止フィルム	SH2CLAR
	飛散防止フィルム外貼り	SH2CLARX
東面	遮熱フィルム	NANO70S
	遮熱フィルム外貼り	NANO70SX
	飛散防止フィルム	SH2CLAR
南面	遮熱フィルム	NANO70S
	網入り用遮熱フィルム	NANO90S
	飛散防止フィルム	SH2CLAR
西面	遮熱フィルム	NANO70S
	遮熱フィルム外貼り	NANO70SX
	飛散防止フィルム	SH2CLAR

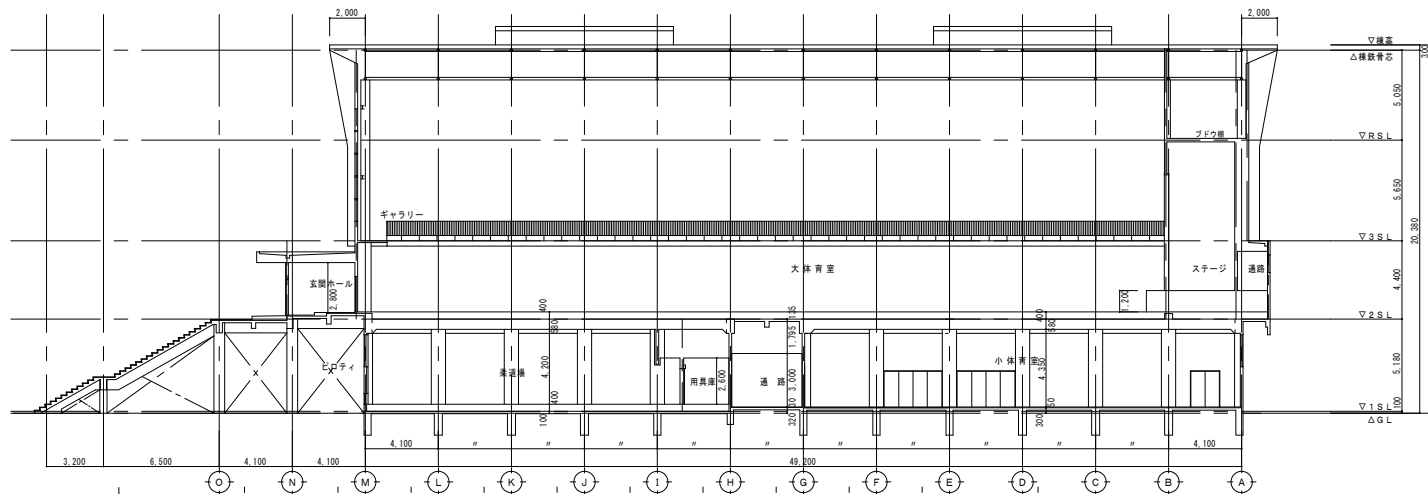
遮熱フィルム	NANO70S	3M
遮熱フィルム外貼り	NANO70SX	
網入り用遮熱フィルム	NANO90S	
飛散防止フィルム	SH2CLAR	
飛散防止フィルム外貼り	SH2CLARX	

※遮熱フィルム、飛散防止フィルムは3Mジャパン（株）同等品とする
※硝子交換：既存の透明・型硝子が割れている場合は、強化・強化型硝子に交換する
：既存の網入りガラスが割れている場合は、既存と同じ硝子に交換する

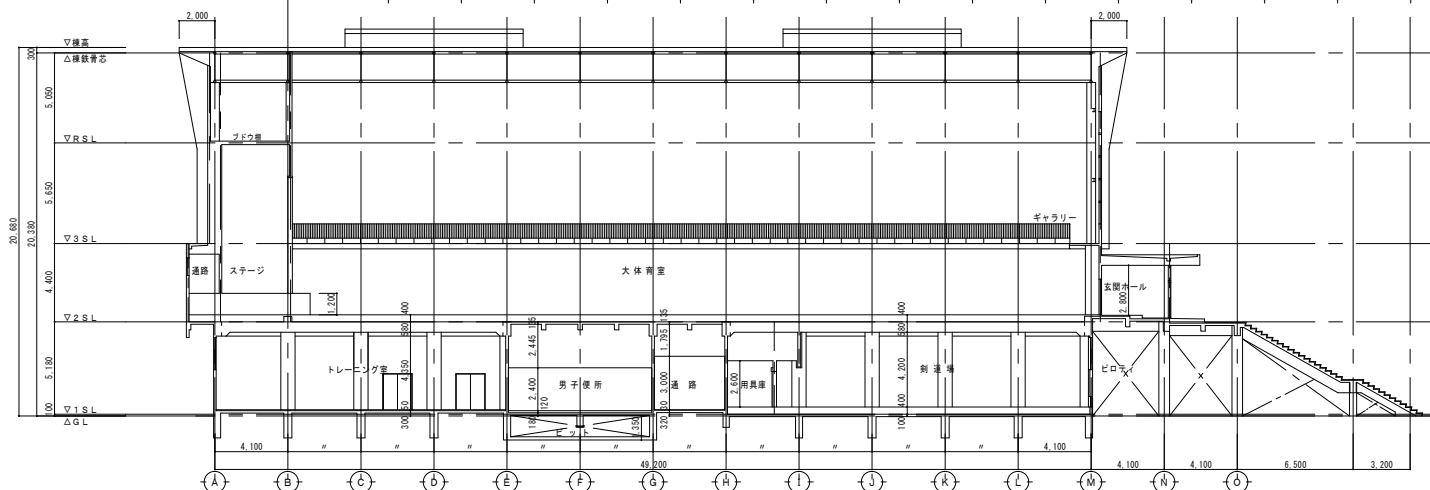
工事名	松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築		
図面名	立面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A-1 1/200 A-3 1/400	図面番号	A-09
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



X-X断面図 1 S=1/150

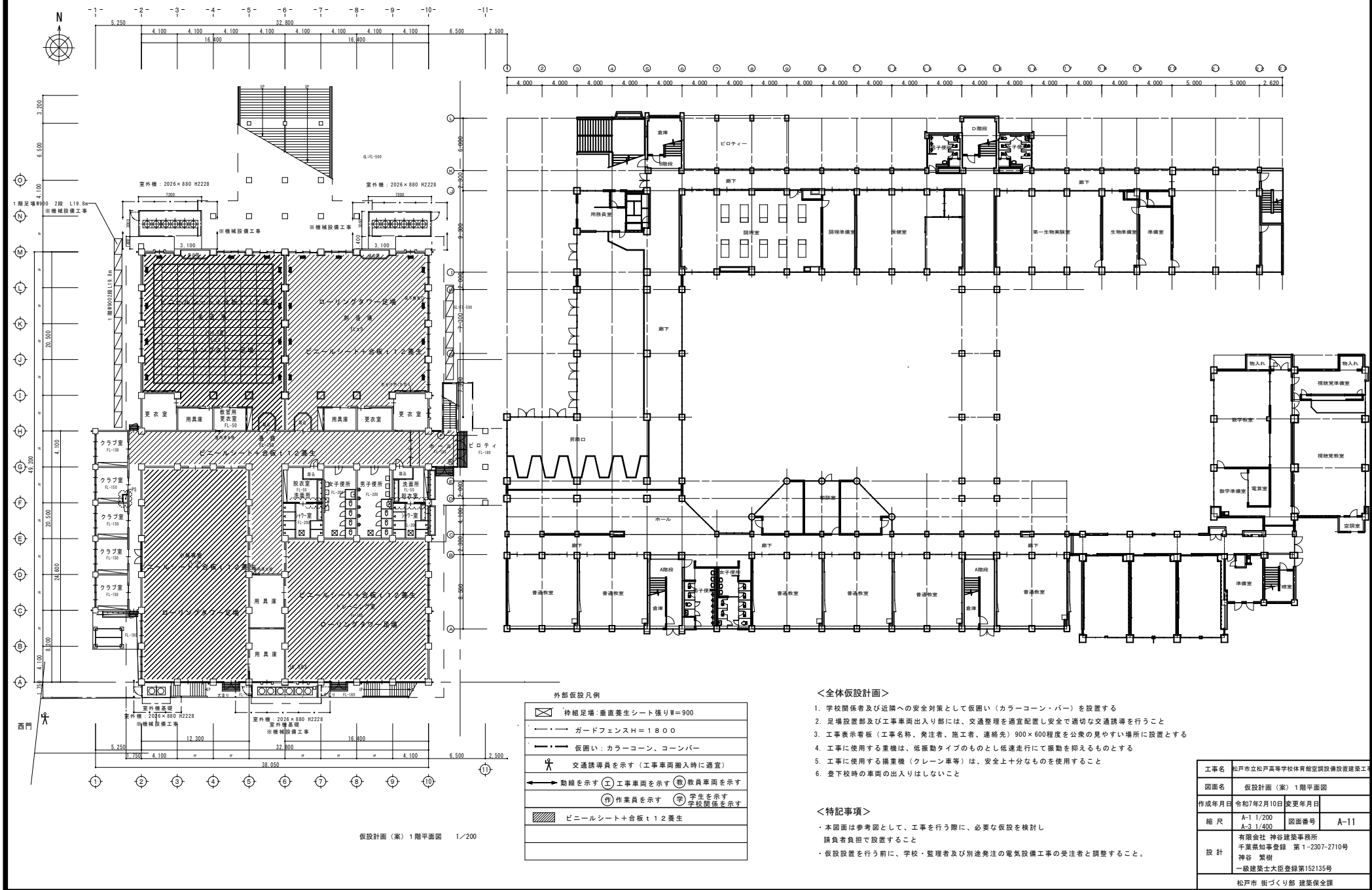


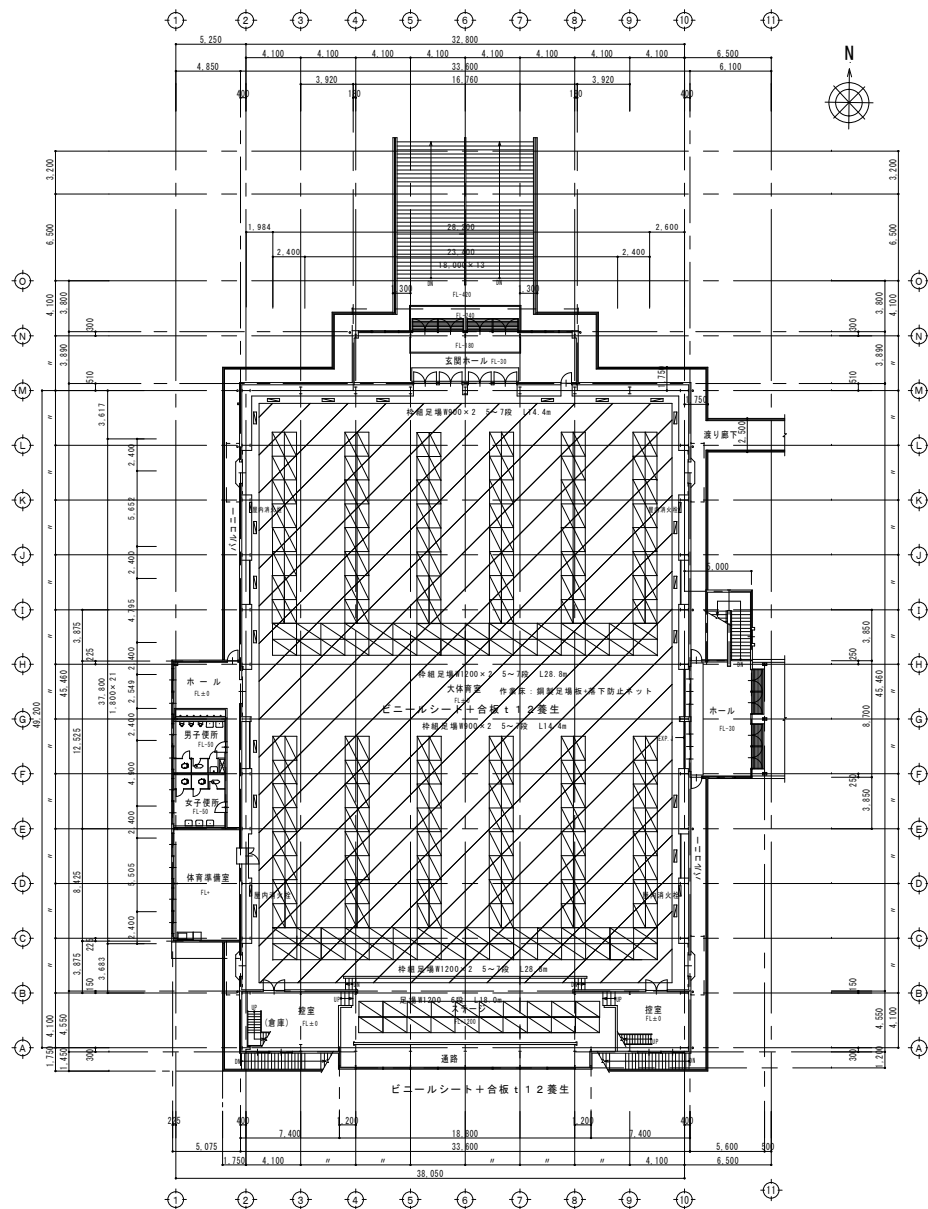
Y-Y断面図 1 S=1/150



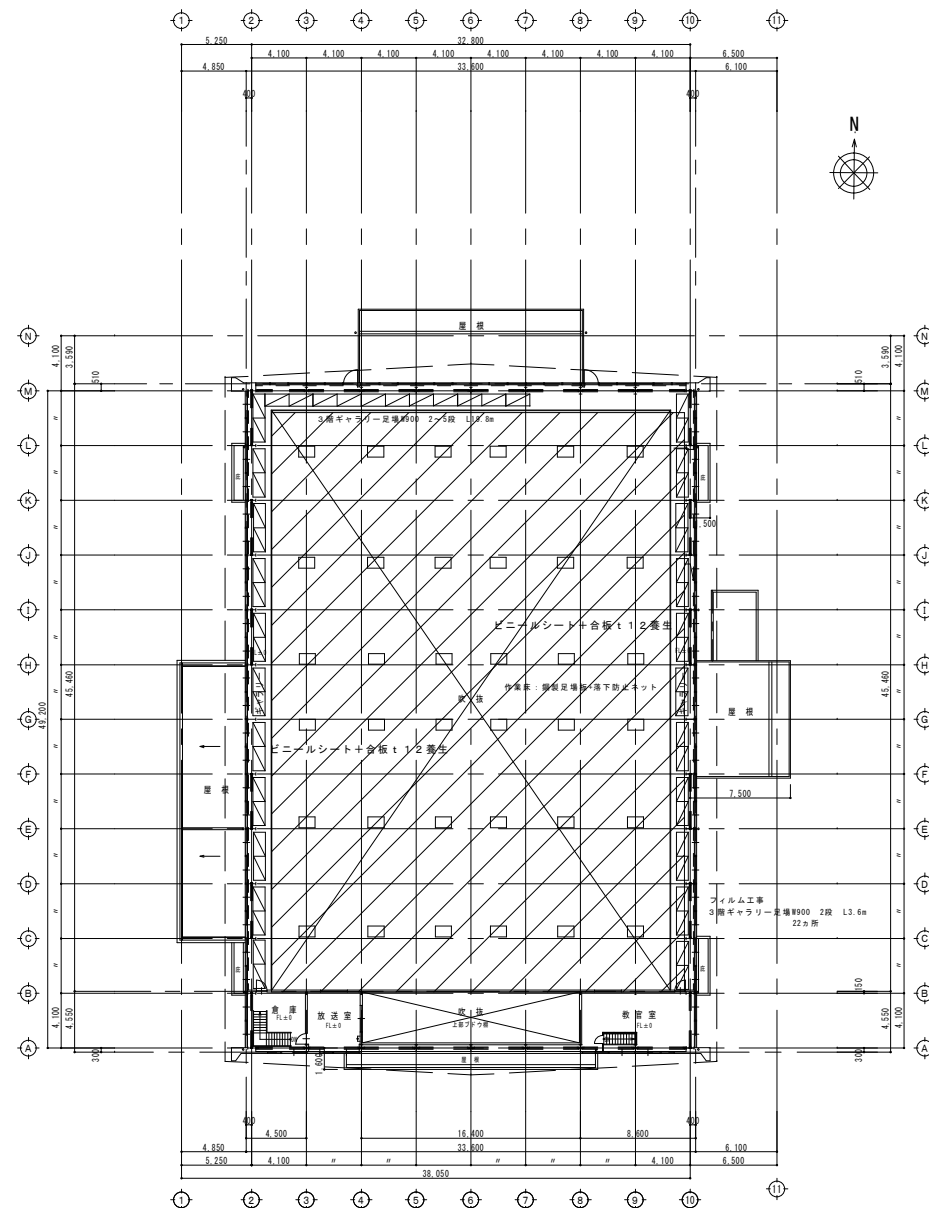
Y-Y断面図 1 S=1/150

工事名	松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工		
図面名	既存断面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A-1 1/150 A-3 1/300	図面番号	A-10
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		





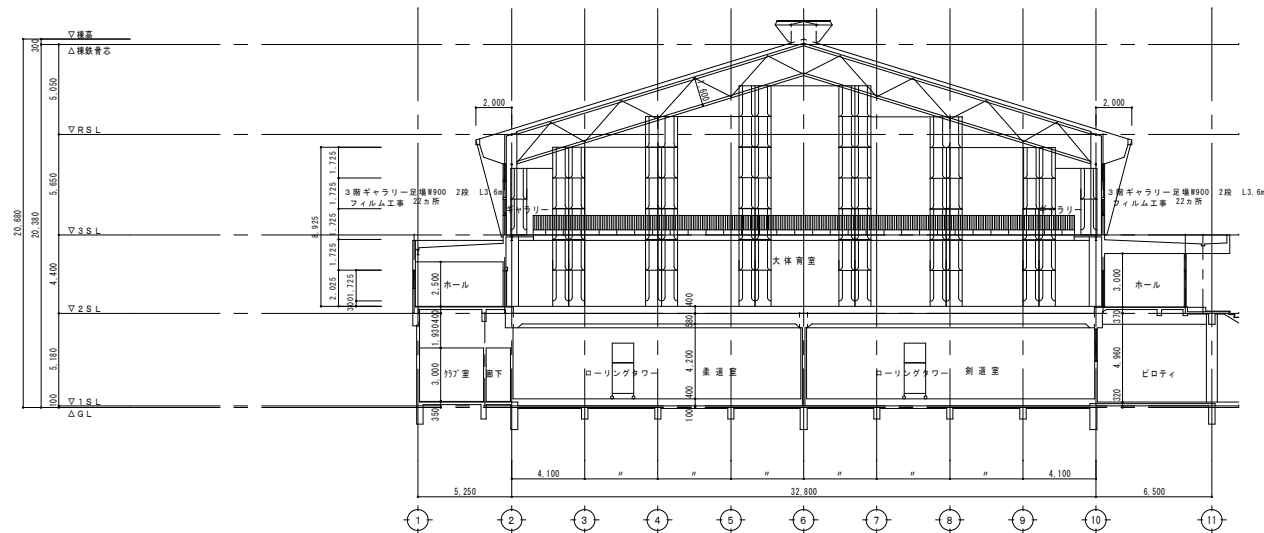
2階平面図 仮設計画(案) 1/200



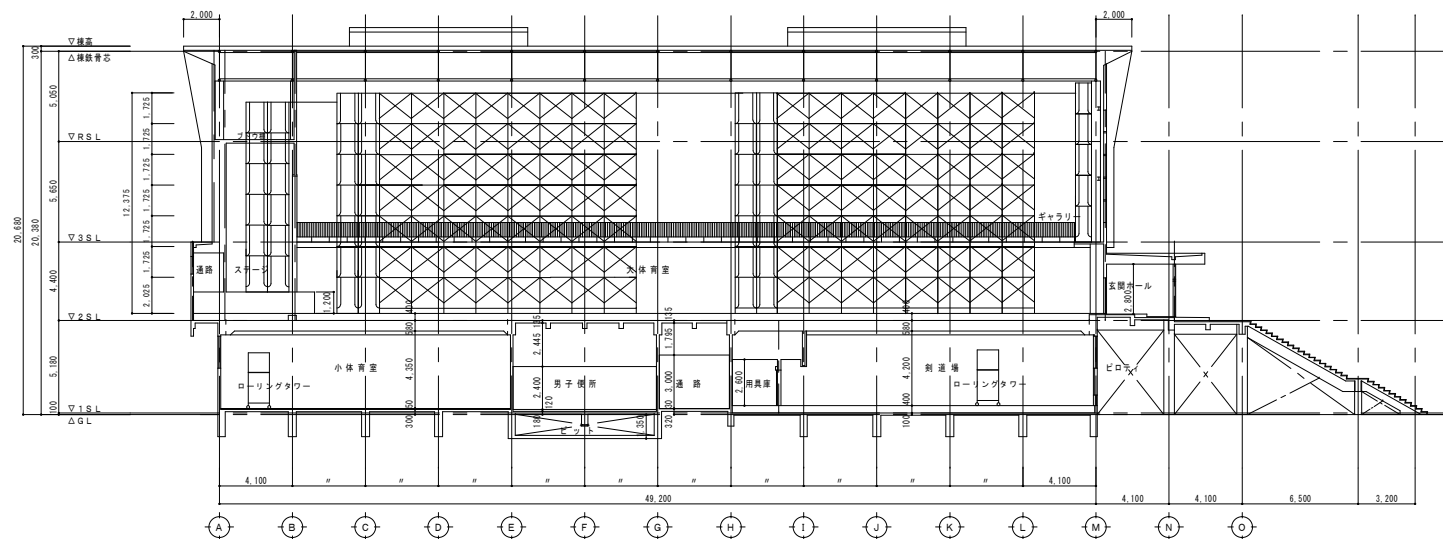
□ 照明器具

3階平面図 仮設計画(案) 1/200

工事名	松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画(案) 2. 3階平面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A-1 1/200 A-3 1/400	図面番号	A-12
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		



仮設計画 (案) 断面図 1 S=1/150



仮設計画 (案) 断面図 1 S=1/150

工事名	松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事		
図面名	仮設計画 (案) 断面図		
作成年月日	令和7年2月10日	変更年月日	
縮尺	A-1 1/150 A-3 1/300	図面番号	A-13
設計	有限会社 神谷建築事務所 千葉県知事登録 第1-2307-2710号 神谷 繁樹 一級建築士大臣登録第152135号		
	松戸市 街づくり部 建築保全課		

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》（2023.10）

1. 工事名称 松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市紙敷二丁目7番地の5

3. 工 期 令和 7年 月 日 から 令和 8年 2月27日 まで

4. CADデータの貸与 ☒有 ☐無

※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」を指す。

※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」を指す。

※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」を指す。

※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ） ※契約額が500万円以上（契約後10日以内に登録） 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	☐ 電気保安技術者通知書 （資格者証の写し） 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出（下請契約がない場合不要）】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.6 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真 ■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳 写真帳	1 1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	□電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事実績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	□防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □1 建築物等の利用に関する説明書 □2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □3 機器性能試験成績書 ■4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2024.6)

1. 工事名称 松戸市立松戸高等学校体育館空調設備設置建築工事

2. 工事場所 松戸市紙敷二丁目7番地の5

3. 工 期 令和 年 月 日 から 令和 8年 2月 27日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版

No	検査・立会い項目	基準等	備 考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバー工法、オールシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	□ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	■ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.7 改標仕 1. 7.7	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	